

地域につくる わたしの居場所

少子高齢化、核家族化などの社会の変化を受け、人間関係が薄れつつある中、人と人とのつながりを生み出す「居場所」づくりが地域で芽生え始めています。

町内にも「ボランティア活動」、「趣味の集い」、「子ども食堂」、「ふれあいサロン」などたくさんの「居場所」があります。

このような居場所に通うことで、思いがけない効果が得られた！という調査結果が出ています。



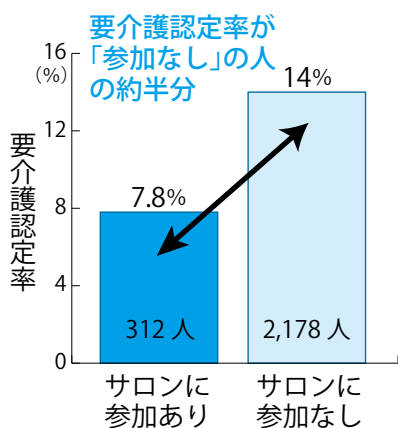
調査結果①

サロンに参加している人は 要介護認定率が低い

サロンに参加している人は、サロンに参加していない人と比べて要介護認定を受けるリスクが約半分であるという結果が出ています。

サロンに参加することが、介護予防効果につながるといえるかもしれません。

グラフ1：サロンに参加している人と参加していない人の要介護認定率の比較



出典：日本老年学的評価研究プロジェクト
(高齢者2,490名を5年間追跡調査した結果)

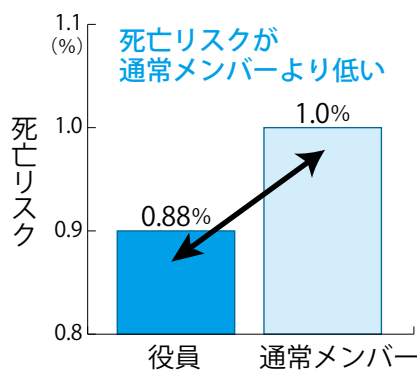
調査結果②

地域で役割のある 高齢者は 長生きしやすい

地域で役割のある高齢者は長生きしやすいという結果が出ているように、居場所に通うだけでなく、役割を持って関わるのがとても重要なポイントです。



グラフ2：
(自治会などの)通常メンバーと役員の死亡リスク比較



組織内で高い立場に立つことで、生きがいや自尊心が高まったことが、死亡リスクを下げた原因のひとつと考えられています。

出典：日本老年学的評価研究プロジェクト
(高齢者10,271名を5年間追跡調査した結果)

みなさんそれぞれが思う「わたしの居場所」を地域で見つけることが、住み慣れた地域で、安心して暮らしていくことにつながるのではないのでしょうか。

地域福祉計画 基本目標 1

身近な人との交流を深め、自分を必要としてくれる居場所があるまちを目指しています。

今回は、「地域の居場所」について紹介します。

問い合わせ 福祉課 内線 1 2 6

男女共同参画サテライトセミナー

認知症 ストーリー・ケアの勧め ～相手の意思を 引き出す会話のコツ～

高齢化にともなう要介護者や共働き世帯の増加などにより、男女に関係なく介護する・される社会が到来しています。パートナー(妻や夫)、両親の介護をする準備はできていますか？

●とき

10月27日(土) 午後2時～4時(開場:午後1時30分)

●ところ

勤労福祉会館

●内容

中日新聞に連載された小説「老いの風景」の執筆者渡辺哲雄氏に、認知症を発症した母親の介護体験を踏まえ、介護で大切なことや介護のコツについて講演していただきます。

●講師

日本福祉大学 中央福祉専門学校 専任教員
NPO 法人東濃成年後見センター 理事長
「認知症ストーリー・ケア」、中日新聞連載コラム「老いの風景」執筆者
渡辺 哲雄氏

●参加費

無料

●共催

公益財団法人あいち男女共同参画財団、町

●協力

町社会福祉協議会、ひがしうら女性の会

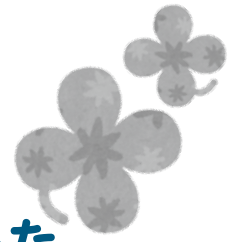
●申し込み

不要、直接会場へ

●問い合わせ

協働推進課 内線295

障がい者 支援の場が 新たに 登録されました



障がい者地域活動支援センター事業のサテライト会場として、県営東浦住宅集会所横の旧駐在所が新たに登録されました。

■障がい者地域活動支援センター事業

●とき

月～金曜日 午前9時～午後4時

●ところ

福祉センター

■障がい者地域活動支援センター事業サテライト

●とき

毎月第4木曜日 午後1時30分～3時30分

●ところ

県営東浦住宅集会所横の旧駐在所

■共通項目

●内容

障がいのある方に創作的活動や運動などの機会を通じて社会との交流や自立した生活を応援する事業です。

●対象

町に住所を有する障がい児・者など

●参加費

無料 ※材料費など実費負担あり

●問い合わせ

町社会福祉協議会 ☎84-3741

介護サービス利用に関する法律相談(予約制、無料)

●とき

10月4日(木)
午後1時30分～4時30分

●ところ

知多市役所

●内容

介護サービスの利用上で生じたサービス事業者とのトラブルに関する相談で、法律問題を含むもの

●対象

知多北部広域連合から要介護または要支援の認定を受けた被保険者とその介護者の方

●定員

6名(先着順)

●対応者

知多北部広域連合 顧問弁護士
熊田 均氏

●申し込み

9月7日(金)～20日(木)の平日
午前8時30分～午後5時に電話で問い合わせ先へ
※相談したい内容を具体的に整理しておいてください。

●問い合わせ

知多北部広域連合 総務課
☎052-689-1651